

令和8年度 教育計画

グランドデザイン

＜ 学校の教育目標 ＞

夢を持ち、共に成長する児童の育成

＜ 校訓 ＞明るく強い子

＜ 教職員の挑戦 ＞

“喜んで登校 満足して下校”

一人一人の可能性を大切にする教師
体験的で、楽しく分かる授業をする教師
使命感とコンプライアンス意識を持つ教師



のまちゃん



子どもがど真ん中

あたたかい家庭
(教育の基盤、家族愛)

ふれあう地域
(交流、協力、郷土愛)

愛情に支えられた心身の健康
基本的生活習慣の定着
「早寝・早起き・朝ごはん」
家庭学習と遊び(ゲーム)のバランス



地域ぐるみで健全育成(見守り)
「挨拶」「声掛け」「共助」
教育資源、ゲストティーチャーの活用
防災、防犯の推進

乃万小学校の目指す学校像



「信頼と安心」の開かれた学校
楽しく活気に満ちた学校
地域と共にある学校

本物のふれあい

豊かな体験

共に学ぶ子
知：確かな学力

共に伸びる子
徳：豊かな心

共に生きる子
体：健やかな体

学びに挑戦

体験的で、楽しく分かる授業
基礎・基本、知識・技能の定着
対話する力(コミュニケーション能力)
協働的問題解決学習の創造
思考力・判断力・表現力の育成

心に挑戦

優しさ、思いやりの心の育成
(道徳教育、特別支援教育、特別活動)
自己肯定感と自己有用感の醸成
自他の命を守る教育
(人権教育、青少年赤十字活動)

健康に挑戦

挨拶運動、元気な返事
基本的生活習慣の定着(家庭との連携)
食育、保健指導の充実
運動に親しむ習慣
自分に合った目標への挑戦

＜ 連携・協力 ＞

学校運営協議会 乃万小 PTA 学校関係者評価委員会 児童生徒をまもり育てる協議会
子ども守り隊 公民館 野間馬保存会 読み聞かせ「えくぼ」 ホタル保存会
西中学校 日高小学校 乃万保育所 その他関係機関や地域企業……など

重点目標と具現策	1 「共に学ぶ子」を育てる。“学びに挑戦” (1) 体験的で、楽しく分かる授業を創造し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 (2) 協働的問題解決学習の中で、主体的・対話的な学びを充実させる。 (3) 人の考えを理解しようとしたり、自分の考えを伝えようとしたりする活動を通して、コミュニケーション能力や思考力・判断力・表現力を育てる。 2 「共に伸びる子」を育てる。“心に挑戦” (1) 道徳教育、特別支援教育、特別活動、青少年赤十字活動等を通して、優しく思いやりのある心を育てる。 (2) 自己肯定感と自己有用感を持たせ、目標に向かって自分の可能性を伸ばそうとする意欲を育てる。 (3) 人権教育、環境教育等を推進し、自他の命を守る心や態度を育てる。 3 「共に生きる子」を育てる。“健康に挑戦” (1) 「挨拶運動」を推進するとともに、正しい姿勢(立腰)や元気な返事ができる習慣を身に付けさせる。 (2) 保健指導、食育等を推進し、健康の保持増進に努める態度を育てるとともに、基本的生活習慣の定着を図る。 (3) 運動に親しむ習慣を身に付けさせ、自分に合った目標に挑戦する態度を養う。
学校運営上の留意点	1 人的管理 (1) 機を逃さぬ情報提供と丁寧な説明を通して、児童・保護者・地域との信頼関係を構築する。 (2) 児童の可能性を伸ばすため、学び続ける教師集団を組織し、危機管理意識を高め、事件・事故に対する未然防止及びコンプライアンス意識を持たせる。 (3) 働き方改革の推進として、出退勤時刻の明確化と要因の自己分析、対策の検討を行うとともに、行事の精選と地域人材による学校支援体制の構築を図る。 2 物的管理 (1) 潜在危険箇所の発見に努め、除去及び修理・補修など、速やかな対応に努める。 (2) 教材・教具の効果的な活用と維持管理をするとともに、教職員相互の情報交換を進める。 (3) 掲示・栽培・清掃活動を充実させ、清潔で活力に満ちた教育環境づくりに努める。 3 事務管理 (1) 校務分掌の明確化により、正確で迅速な事務処理に努める。 (2) デジタルデータや金銭の管理に細心の注意を払い、情報漏洩や不適正な処理を防止する。 (3) 校務支援システムの有効活用等を通して、適切な事務処理と文書管理の推進を図る。
本校教育の特色と展開	本校区には、宝篋印塔ほうきょういんとうをはじめ継ぎ獅子など、歴史的・文化的に価値の高い文化財が数多く残っている。また、日本の在来馬である「野間馬」が保護、飼育されている「のまうまハイランド」やゲイヨサンショウウオが生息している保護地域があることでも有名である。これらの地域資源を効果的に教育活動に取り入れ、体験的な学習の充実を図ることにより、生きる力の育成を図ることができると考えられる。 一方、国道196号線が校区の中心を貫き、学校に隣接する神宮交差点では日高・玉川地域と波止浜・波方地域とを結ぶ県道155号線・38号線と交わっている。また、しまなみ海道へのインターチェンジがあり、市内でも有数の交通量となっている。さらに、今治新都市地域に隣接し、住宅地が拡大しているなど、変化が著しい地域である。したがって、命を大切にする教育や防災教育を含め、実態に応じた安全教育を進めていく必要がある。 今後も豊かな体験と本物のふれあい、人と人の温かい関わり合いを基盤とし、生きる力を育成するため、教職員一人一人のキャリアステージに応じた指導力の向上を目指していきたい。